

## 所沢市の祝品配送状況と狭山市の条例廃止経緯

## ・ 所沢市の配送経緯と戻り状況等

所 沢 市		
77・88 歳の方への発送件数	7,250 件	敬老祝い金支給事業開始時より、88・100 歳の方へは配送で行っていた。77 歳については、自治会主催の敬老イベントで配布していたが、令和 4 年度より敬老イベントが廃止されることとなったため、77 歳についても配送対応とすることとなった。 返却理由：受け取り拒否など 返却後の処理：市で一時保管し処分
100 歳の方への発送件数	83 件	
	市長の手渡し 3 件	
業者から市への返却件数	171 件(7,333 件中)	
市からの再発送件数 (レターパック対応)	141 件 (死亡者除外後)	
再発送後の返却件数	83 件	

## ・ 狭山市が敬老祝金事業を廃止した経緯（※狭山市議会 議事録より）

狭 山 市
<p>○平成27年12月議会において、「狭山市敬老祝金支給条例を廃止する条例」が上程された。</p> <p>○上程の理由として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の平均寿命は、男女とも 80 歳を超えており、今後も対象者は増加し、年々祝い金の上昇が見込まれている。</li> <li>・現在も狭山市の財政状況が厳しいことや今後高齢者の介護及び医療に係る経費の公費負担の増加も見込まれる。</li> <li>・特定の年齢の方への現金支給から、より多くの高齢者福祉事業の財源の一部とするために敬老祝金の支給を廃止する。</li> </ul> <p>○内容に関する説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省発表のデータで、日本人の平均寿命は女性が 86.83 歳、男性が 80.50 歳と年々上がってきており、当市においても女性が 86.7 歳、男性が 80.3 歳と、80 歳を迎えることが普通となっている。長寿を祝う敬老祝い金の支給環境も変化してきている。</li> <li>・総人口が減少基調で推移していくと予想される中で、高齢者人口は今後も増加し、平成 37 年には、高齢化率約 33%と3人に1人が 65 歳以上になると推計されている。</li> <li>・今後、単身高齢者世帯や高齢者夫婦のみの世帯などの増加や医療、介護などの財政需要のさらなる高まりも見込まれる。</li> <li>・敬老祝い金は特定の方が対象だが、より多くの市民の方が安全・安心した生活が送られるように、限られた財源を必要な福祉施策や事業に充当していくことが必要と考える。</li> <li>・敬老祝い金の全てを廃止することによる財源は、福祉施策の充実を図る高齢者に関する事例として、高齢者の健康寿命を延ばす取り組みや、介護が必要になっても社会全体で支え合い、住みなれた地域で暮らし続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援等が一体となって提供できる地域包括ケアシステムを構築するための費用に充てていく。今後、周知等十分に配慮して対応していきたいと考えている。</li> </ul>